

谷戸山里山四季だより

2000年12月号

【問い合わせ先】 県立座間谷戸山公園管理事務所
〒228-0024座間市入谷3-3904
TEL: 046-257-8388 FAX: 046-257-8533



10月22日(日)に水鳥の池の「掻い掘り」が実施されました。(当初は9月17日の予定でしたが、大雨で中止になってしまいました)。谷戸山公園積年の課題をやっと果たすことができましたので、その結果をご報告します。

ついにやりました! 池の大掃除

水鳥の池「掻い掘り」結果報告

掻い掘りQ&A



掻い掘りって何ですか?



「掻い掘り」とは農業用の溜め池の水を全部抜いて、大掃除を行い、併せて魚捕り等の行事として、数年に1度実施するものです。今ではあまり見られなくなってしまった日本の農村の代表的な行事のひとつです。



なぜ、水鳥の池は掻い掘りをするの?



水鳥の池は公園のメインの修景施設として溜め池をイメージし、調整池の機能を果たしつつ、休耕田を整備して作られました。池ができ10年が経っていますが、1度も「掻い掘り」を実施していません。当初は水もきれいで、水草やトンボなどの水生昆虫を多く見ることができましたが、近年その姿があまり見られなくなってきました。人によって放されたブラックバスや大きなコイが泥をかき混ぜ池の水を濁したり、水生昆虫や水草を食べてしまうのが原因です。そこで、池本来の生態系を回復させることと生物調査を兼ねて「掻い掘り」を実施しました。

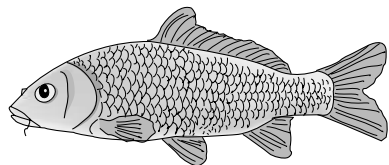


捕まえた生き物はどうしたの?

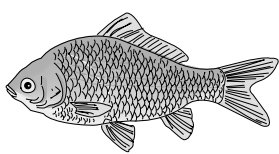


「掻い掘り」時に捕獲した生き物は、仮設の池(子ども用プール)に入れて分類調査を行い、池に水が溜まるまで展示しました。コイや増え過ぎたフナは水産業者へ引き取って貰い、他の生き物は汚泥を取り除ききれいになった池に戻しました。

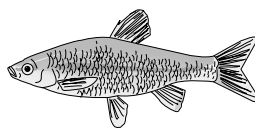
◎捕獲生き物の紹介



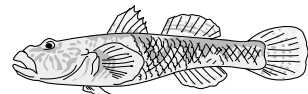
コイ【コイ科、コイ亜科】 捕獲数: 23
人為的に放されたニシキゴイ、ヒゴイが捕まった。最大のは75cmを越えた。水生生物や水草を食べていたと思われる。水質汚染にも強い。捕獲後は水産業者へ。



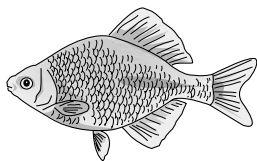
フナ (ギンブナ、ゲンゴロウブナも含む)【コイ科、コイ亜科】 捕獲数: 2,067
人為的に放されて谷戸山の魚類の中では一番の優位種。増え過ぎているので1,600匹程を水産業者へ。



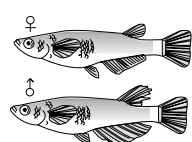
モツゴ (クチボソ)【コイ科、ヒガイ亜科】 捕獲数: 668
川、池でふつうに見られる。比較的汚染に強い。大きさは5~10cm。捕獲、調査後は池へ再放流。



トウヨシノボリ (地方名: ゴリ)【ハゼ科、ハゼ亜科】 捕獲数: 802
橙色型のヨシノボリ。これはヨシノボリの中でも変種が多い。今回も別種のような個体もあり、個体差も多いと思われる。



タイリクバラタナゴ【コイ科、タナゴ亜科】 捕獲数: 80
名前はオスのバラ色の婚姻色に由来。2枚貝の中に産卵し、谷戸山ではドブ貝に産卵していたものと思われる。



メダカ【メダカ科】 捕獲数: 40
今や環境庁のレッドデータブックに載ってしまったメダカ。もともと谷戸山の小川に生息していた本来の在来種。外来種のカダヤシは発見されなかった。



スジエビ【テナガエビ科】 捕獲数: 6,165
体長5~6cm。名前は身体の節のスジに由来。淡水産の最も一般的なエビ。繁殖力が強い。



ヌマエビ【ヌマエビ科】 捕獲数: 384
体長3cm程。スジエビと同じ環境に生息。

アメリカザリガニ / 岸辺周辺部で捕獲。ザリガニ釣り用に湿生生態園に再放流。

ヤゴ / 岸辺周辺部で捕獲。シオカラトンボ、オニヤンマ、コシアキトンボ等。

インガメ / 1匹 外来種のみししっぴアカカミミガメ(ミドリガメ)は陸に上がったため、捕獲できず。

ブラックバスは事前の予備調査で3匹程捕獲されただけで、掻い掘り時には見つかりませんでした。

◎池の底の汚泥も取り除きました

(汲み取り量：約45トン)

池ができて10年経つと、池の底には大量の泥が溜まります。泥が堆積すると泥に酸素が供給されず腐敗が進みます。やがてヘドロ状になりドブのような悪臭を放つようになります。水鳥の池の泥は多少のドブ臭さはありませんでしたが、河川や家庭排水の流入が無く、わき水の流れ込みだけなので、ひどい腐敗にはなっていませんでした。池全体の汚泥の除去は無理でしたが、今回はバキュームカー15台分の汚泥を取り除きました。

◎ 結果の分析と今後の課題

調査結果の詳細な分析にはまだ時間がかかりますが、予想したほどコイやブラックバスの数は多くありませんでした。放流された生物は繁殖していませんでした。しかし、今後きれいになった池に生態系の頂点になるような生物(ブラックバス、ブルーギルなど)が放されると、たとえばブラックバスだらけの池になる可能性が出てきます。勝手に池に生き物を放流しないよう注意を促す必要があります。また、そうならない為にも定期的(2~3年毎)に「掻い掘り」を継続しなければなりません。

Don't stop release !

「池に生き物を放さないで！」

池の生態系が破壊される密放流は犯罪行為です。

◎ special thanks

今回掻い掘りを実施するにあたって、以下の方々にご協力いただきました。御礼申し上げます。
(株)東京ランドスケープ研究所、座間市造園業協会、(株)ゼイエンス、相模川漁業協同組合、(有)さがみ水産、市民ボランティアの皆さん、(株)アスコット

12月の案内板

今年もやるよ！ 「米作り収穫祭」

- ・日時：11月26日(日) 10:00~14:00
雨天一部中止
- ・場所：県立座間谷戸山公園 里山体験館周辺
- ・主催：「米作り収穫祭」実行委員会
- ・内容：もちの無料配布・パウムクーヘン作り・ピッツア作り・焼きイモ作り・お囃子・野点・自然観察クイズラリー・ネイチャーゲーム・お菓子釣り・作品展・間伐材工作(鍋敷き、コースター)
- ・参加費：すべて無料
- ・問い合わせ：公園管理事務所 TEL046-257-8388

「里山保全隊」「カエル沼」復活大作戦

(ピオトープ池作り)

- ・日時：12月9日(土) 10:00~15:00 雨天中止
- ・集合：県立座間谷戸山公園 里山体験館前
- ・内容：「水鳥の池」の側に昔あった「カエル沼」を復活させ、カエ

ルやトンボが産卵にやってくるピオトープの池を作ります。

- ・募集対象：里山保全のボランティア活動に興味のある方ならどなたでも
- ・持ち物：長靴、昼食、水筒、タオル、作業の出来る服装。使い慣れたスコップがあればご持参下さい。
- ・申し込み：必要ありません。当日集合場所にお集まりください。
- ・問い合わせ：谷戸山公園 ログハウス TEL046-257-6388

次回のグリーンタフ 定例自然観察会

- ・日時：12月17日(日)
13:00~15:00 小雨決行、荒天中止
- ・集合：県立座間谷戸山公園 里山体験館前
- ・申し込み：必要ありません。当日集合場所にお集まりください。
- ・問い合わせ：「グリーンタフ」(神奈川県自然観察指導員連絡会)
代表 一杉敏登 TEL.046-238-4355

里山体験館では双眼鏡と野鳥の図鑑を貸し出しています。ぜひご利用ください。

県立座間谷戸山公園自然情報

(2000年11月16日現在)

新種!?変わったカモがいます。

11月に入って谷戸山公園の「冬の使者」である、カモたちが続々と渡って来ています。「掻い掘り」できれいになった池の水辺で羽根を休めています。しかし、そのカモたちを良く観察してみると、変わったカモが2羽いることがわかります。くちばしが黄緑色で、くちばしの先が広がっています。図鑑で調べても出ていません。でも、新種のカモではありません。これはマガモとハシビロガモの交雑種(ハイブリット)と思われます。ここ数年カモの交雑種が全国的に確認されています。もし、変わったカモを見かけたら管理事務所までご一報下さい。

こんな花が咲いています

- ・コスモス・タイアザミ・イラクサ・ヤブマオ・サクラタデ・ヤブマメ
- ・カゼクサ・カナムグラ・ブタクサ・イヌタデ・ハナタデ・イヌビユ

こんな実がなっています

- ・カラスウリ・イノコズチ・ヌスビトハギ・チヂミザサ・ミズヒキ・アシ
- ・タケニグサ・キンミズヒキ・ガマミズ・オナモミ・ガンクビソウ
- ・ヨウシュヤマゴボウ・アメリカセンダングサ・コセンダングサ・シラカシ
- ・コナラ・クヌギ・イヌシデ・モミジバズカケノキ・ケヤキ・ススキ・オギ

こんな鳥が見られます

- ・シジュウカラ・エナガ・ヤマガラ・スズメ・メジロ・モズ・ホオジロ
- ・ハクセキレイ・キセキレイ・コジュケイ・キジバト・ハシブトガラス
- ・ハシボソガラス・ヒヨドリ・ムクドリ・オナガ・カケス・カワラヒワ
- ・アオゲラ・コゲラ・アオジ・アオサギ・カワセミ・ゴイサギ・カルガモ
- ・マガモ・コガモ・オナガガモ・ハシビロガモ
- ・交雑カモ(ハシビロガモ、マガモ?)

お願い

無断転載、コピー大歓迎です。
どんどんお使いください。
みなさんが座間谷戸山公園でとった観察メモやイラスト、大発見したこと、気付いたこと、なんでもOK。管理事務所へ持ってきてください。谷戸山だよりで紹介させていただきます。

